

令和2年度 教育活動に関するアンケート【分教室職員】（年間）

秋田県立ゆり支援学校道川分教室

◎実施時期：令和2年7月 ◎回答数：7/7（100%）
 ◎評価：4：十分できている 3：ほぼできている 2：不十分である、1：できていない
 ◎上段：評価者数 下段：割合（%） 網掛け：2・1評価が10%以上

領域	No.	項目	評価（R2中間）				評価（R2年間）			
			4	3	2	1	4	3	2	1
A 今年度の重点	1	児童生徒数・職員の減少を見据え、本校と連携した学校運営を行っている。	1 14.3%	6 85.7%	0 0%	0 0%	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%	0 0%
	2	児童生徒の実態に応じた教育課程の編成に向け、研究テーマに沿って指導内容や指導方法などを評価して授業を改善している。	1 14.3%	6 85.7%	0 0%	0 0%	0 0%	7 100%	0 0%	0 0%
	3	外部人材を活用した授業研究会、教材・教具研修会等の開催、ICTを活用した教育活動の展開により、職員一人一人の指導力と専門性の向上に努めている。	0 0.0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0%	1 14.3%	5 71.4%	1 14.3%	0 0%
	4	病弱教育に関する情報収集・情報提供を秋田きらり支援学校と連携を図りながら行っている。	0 0.0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%	7 100%	0 0%	0 0%
B 学校運営	5	管理職は、学校運営の方針を具体的に分かりやすく校外に伝えている。	5 71.4%	2 28.6%	0 0%	0 0%	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	0 0%
	6	今年度の学校運営の重点や、学部、学年の指導方針を保護者に分かりやすく伝えている。	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%	0 0%	1 14.3%	6 85.7%	0 0%	0 0%
	7	訪問による教育を行う分教室として、魅力ある学校づくりに取り組んでいる。	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%	1 14.3%	6 85.7%	0 0%	0 0%
	8	職員同士が連携、協力して教育活動を行い、一人一人が積極的に学校運営に参画している。	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%
	9	児童生徒は学校生活を楽しみ、目標に向かって学習している。	5 71.4%	2 28.6%	0 0%	0 0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0%	0 0%
	10	学校内外の資源を活用した教育活動を工夫して行っている。	1 14.3%	6 85.7%	0 0%	0 0%	1 14.3%	4 57.1%	2 28.6%	0 0%
C 運営組織	11	分教室運営組織は、教育目標や課題の達成に適した組織になっている。	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%
	12	今年度の重点事項を達成するために、学部・分掌が機能している。	1 14.3%	6 85.7%	0 0%	0 0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%
	13	学部や分掌等において、職員は適材適所に配置されている。	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%
	14	学部や分掌等の業務は、適切に分担されている。	0 0%	7 100%	0 0%	0 0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%
	15	業務の効率化が図られている。	1 14.3%	6 85.7%	0 0%	0 0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%
D 学習指導	16	重度・重複障害教育の専門性に基づいた授業や教育活動を行っている。	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%
	17	児童生徒の特性や発達段階を理解して個に応じた指導を行っている。	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0%	0 0%
	18	教育課程や学習内容、指導方法は児童生徒一人一人の教育的ニーズに合っている。	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	0 0%
	19	年間の目標や学習内容について保護者に丁寧に説明し、効果的な指導を行っている。	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%	0 0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%

領域	No.	項目	評価 (R2中間)				評価 (R2年間)			
			4	3	2	1	4	3	2	1
E 生活指導・進路指導	20	児童生徒や保護者の希望や要望を理解し、適切で丁寧な対応をしている。	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	0 0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0%	0 0%
	21	児童生徒の人権を重んじ、個々の良さや可能性を伸ばす指導をしている。	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	0 0%	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	0 0%
	22	学校は、将来の生活に必要な力を育てている。	1 14.3%	6 85.7%	0 0%	0 0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%
	23	学校は、病院及び保護者へ卒業後の生活に関する情報を提供している。	1 14.3%	5 71.4%	1 14.3%	0 0%	4 57.1%	2 28.6%	1 14.3%	0 0%
領域	No.	項目	評価 (R2中間)				評価 (R2年間)			
F 行事等	24	学校行事や学部行事においては、個々の目標を明確にして児童生徒の成長につながる指導を行っている。	1 14.3%	5 71.4%	1 14.3%	0 0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%
	25	行事や校外学習の回数や内容、経費について、適切に計画・実施している。	1 14.3%	3 42.9%	3 42.9%	0 0%	1 14.3%	3 42.9%	3 42.9%	0 0%
領域	No.	項目	評価 (R2中間)				評価 (R2年間)			
G 地域支援	26	「個別の支援計画」について保護者に丁寧に説明し、個に応じた支援を行っている。	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%	0 0%	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	0 0%
	27	ニーズに対応した支援を行い、センター的機能を果たしている。	1 14.3%	2 28.6%	4 57.1%	0 0%	1 14.3%	3 42.9%	3 42.9%	0 0%
領域	No.	項目	評価 (R2中間)				評価 (R2年間)			
H 研修	28	職員及び学校の専門性の向上を目指し、計画的に研修を推進している。	1 14.3%	6 85.7%	0 0%	0 0%	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%	0 0%
	29	職員一人一人は研修に励み、自己の指導力の向上に努めている。	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%
領域	No.	項目	評価 (R2中間)				評価 (R2年間)			
I 安全管理	30	学校は、安全点検や安全管理（事故防止対策、緊急体制、個人情報管理など）を適切に行い、安心して学習できる環境を整えている。	6 85.7%	1 14.3%	0 0%	0 0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0%	0 0%
	31	避難訓練や防災研修等を計画的に行い、全校職員が災害等の危機に的確に対応できるようにしている。	5 71.4%	2 28.6%	0 0%	0 0%	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	0 0%
領域	No.	項目	評価 (R2中間)				評価 (R2年間)			
J その他	32	職員は綱紀の保持に努め、保護者や地域住民等の信頼を得ている。	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0%	0 0%
	33	職員は病院関係者への連絡を密に行っている。	3 42.9%	4 57.1%	0 0%	0 0%	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	0 0%
	34	会計簿などの諸表簿や簿冊の管理が適切になされている。	7 100%	0 0%	0 0%	0 0%	4 57.1%	3 42.9%	0 0%	0 0%
	35	P T A活動や面談などを通して、保護者と職員が協力して教育活動に取り組んでいる。	1 14.3%	6 85.7%	0 0%	0 0%	0 0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0%